

## 私の夢

周 偉豪

皆さん、こんにちは。本日はここで話しできることを、とても嬉しく思います。私は「周 偉豪」と申します。中国で生まれ、日本に来て2年半になりました。今日お話ししたいテーマは「私には夢がある」です。もちろん、キング牧師のような偉大な夢ではありません(笑)。私個人の、小さな願いです。つまり、日本でちゃんと幸せに暮らしていきたいです。でも……難しいんですね。私が「難しいな」と感じることは3つあります。1つ目、日本語が難しすぎる！2つ目、日本語は本当に難しすぎる！3つ目(笑)、もちろん日本の社会に溶け込むのもすごく難しいです！異国で生活すると、多くの方が「文化の衝突」を経験すると思います。そして、その衝突の多くは私たちが子どもの頃から受けてきた教育や、学んできた文化が 違う ことによって生まれるのだと思います。だから最近、私ちょっと不器用な決断をしました。小学校からやり直すつもりで、日本の学校で学ぶ内容をもう一度勉強し直してみよう。歴史、地理、文学……そういうものも含めてです。では、こんなに大変なのに、なぜ私は日本に残って、「日本でちゃんと暮らす」ことを諦めたくないのか？シェイクスピアが「ヴェニスの商人」の中で、こんな言葉を書いています。「慈悲は、無理にひねり出すものではありません。それは天からのやさしい雨のように、地上へと静かに降りそそぎます。慈悲は二重に祝福をもたらします。与える人をも、受け取る人をも、等しく祝福するのです。」私は日本で、特にパレットの皆さんから、こうした温かさを実際に感じてきました。だからこそ 私は日本で受け取ったこの温かさを今後は私自身も誰かに渡していきたいと思うよう になりました。ただ、その前に誰かを支えられる自分になるために、まずは自分の足で立てる力 をつけなければと思っています。しかし残念なことに、多分皆さんもご存じの通り、近年は国際関係がより複雑になり、日中の関係 も少し敏感になっていると感じます。それでも、私の夢は変わりません。なぜなら、私は、普通の方が政治家の言葉に盲目的に流されることは、とても危険だと思うから です。恐ろしい軍国主義も、そうやって生まれてしまうのではないのでしょうか。私は、こんなニュースを見ました。2024年6月24日、中国の蘇州で日本人の母子を狙った刃物による襲撃事件がありました。その日、彼らを守ろうとして中国人の女性教師・胡友平さんが亡くなってしまいました。もし私たちが「襲撃者が中国人だった」という点だけを見つめ続けたら、憎しみはどんどん深くなってしまわないのでしょうか。母子を守った先生も、また中国人でした。でも私は、こういう見方をしたいのです。その瞬間、彼女は「中国人」でも「日本人」でもなく、ただ一人の大人として子どもを守ることを選 んだのだと。最後に、私は「ファウスト」の中の好きな言葉で締めくくりたいと思います。「善を追い求める中で、人は迷うこともあります。けれど最後には、正しい道があるのだと気づくので

す。」私にとって、その「正しい道」とは私の夢です。つまり、日本でちゃんと幸せに暮らしていくことです。また、少しだけ宣伝をさせてください(笑)。この夢を叶えるために、私は妻と一緒にコツコツ貯金をして、いつか日本で小さなパン屋さんを開きたいと思っています。今日は試食も少し持ってきました。台湾の「タピオカ」を使ったベーグルです。もし美味しいと思っていただけたら、スピーチのあとでぜひ声をかけてください。感想も聞かせてもらえたら嬉しいです。もちろん、ご注文も大歓迎です！ご清聴ありがとうございました。